

ひろがる酒の輪

酒とその歴史をめぐる
13機関の連携展示

平成28年
9月13日(火)
↓↓↓
平成29年
2月26日(日)

展示コンセプト

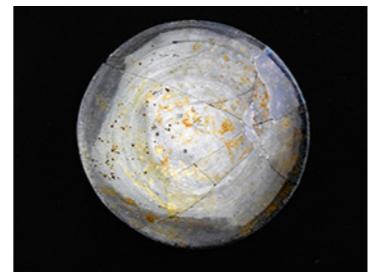
米を基調の日本の文化で、米から作る日本酒には深い歴史あり！
農作、醸造、流通、饗応、神事、民俗、美術工芸、文学と、多分野にわたる酒について、資料保存機関なら何か所蔵しているはず・・・ということから、このたび岡山市内と備前地方の13施設が博物館・図書館・記録資料館の別なく「酒」を共通テーマに連携展示し、地域に根差して多様な酒の文化を紹介します。
小さくてもキラリと光る展示から、大規模な特別展にもまさる豊かな内容を堪能してください。会場が少し離れていますが、その分、知らなかった珠玉の資料館と出えるかも知れません。
※会期、休館、開館時間、観覧料等は、酒に関する連携展示の期間中のものです。

1 赤磐市山陽郷土資料館
<http://akaiwa-rekishi.sakura.ne.jp/sanyo/sanyo/html>

『赤磐の酒 —みのる・かもす・いわう—』

赤磐市とお酒との関わりは古く遺跡からはお酒に関係したと思われる須恵器や土師器が出土しています。赤磐の酒や酒造にまつわる歴史を考古資料や民俗資料で紹介します。

会 期：平成28年10月21日(金)～12月11日(日)
休 館：月曜、祝日
開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
場 所：赤磐市下市337
電 話：086-955-0710
交 通：JR岡山駅東口から、宇野バス(ネオポリス線)で「新道赤磐市役所前」下車徒歩3分
観 覧 料：無料



墨書須恵器「酒」
岡山県教育委員会

2 赤磐市吉井郷土資料館
<http://akaiwa-rekishi.sakura.ne.jp/yohii/yoshii.html>

『赤磐の酒 —みのる・かもす・いわう— in 吉井』

和室にしつらえた宴会の空間で、赤磐市内の造り酒屋の紹介と山陽郷土資料で展示している企画展をパネルでサテライト展示します。

会 期：平成28年10月25日(火)～12月9日(金)
休 館：土曜・日曜・祝日(振替休日を含む)
開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
場 所：赤磐市周匝136
電 話：086-954-1379
交 通：山陽ICから県道27号線を北へ車で35分
観 覧 料：無料



▲ 吉井郷土資料館展示
オリンピック記念猪口 ▶



3 岡山映像ライブラリーセンター
<http://www.library.rsk.co.jp/>

『醸す 岡山の地酒』

日本酒の出来上がる工程をセンターが収蔵する映像で紹介。また、酒米や麹菌など、酒造りに関わるものを展示します。10月23日開催の「地酒トーク」(「関連行事」に別掲)もお楽しみに。

会 期：平成28年10月16日(日)～10月31日(月)
休 館：企画展期間中は無休(通常は土曜、祝日)
開館時間：10:00～17:30
場 所：岡山市北区丸の内2-7-7(RSK第2ビル)
電 話：086-225-8622
交 通：JR岡山駅東口から、路面電車東山行で「城下」下車徒歩5分
観 覧 料：無料(地酒トーク夜の部は500円)



種付け作業=酒米と麹菌(もやし)の出逢い

4 岡山県立記録資料館
<http://archives.pref.okayama.jp/>

『晴れの国おかやまの酒』

全国に広がった酒の原料の「雄町米」と酒造労働者の「備中杜氏」の活躍、江戸・明治時代の酒造りの様子などを記録資料から紹介します。

会 期：平成28年10月25日(火)～11月27日(日)
休 館：10月31日(月)、11月3日(木)、7日(月)、14日(月)21日(月)、23日(水)
開館時間：9:00～17:00
場 所：岡山市北区南方2-13-1
電 話：086-222-7838
交 通：JR岡山駅東口から、徒歩20分、または岡電バス・中鉄バスで「跨線橋東停留所」下車徒歩10分
観 覧 料：無料



有元家資料
酒造書類一括
明治 寄託資料

5 岡山県立図書館
<http://www.libnet.pref.okayama.jp/>

『岡山のサケ・さけ・酒』

岡山県の地酒や地ビールなどに関する図書や酒蔵情報(チラシ、パンフレット等)を紹介します。杉玉や酒造りの道具も展示します。

会 期：平成28年9月13日(火)～11月20日(日)
休 館：月曜(祝日の場合は翌日)
開館時間：平日9:00～19:00
土曜・日曜・祝日10:00～18:00
場 所：岡山市北区丸の内2-6-30
電 話：086-224-1288(カウンター直通)086-224-1286(代表)
交 通：JR岡山駅から、路面電車東山行きで「県庁前」下車徒歩5分、または岡電バス・宇野バス・両備バスで「県庁前」下車すぐ
観 覧 料：無料



展示の様子 ▶

6 岡山県立博物館
<http://www.pref.okayama.jp/kyoiku/kenhaku/hakubu.htm>

(民俗)『豊作の祝い』(備前焼)『備前焼の酒器?』

「豊作の祝い」では、民具とともに酒器を展示。また、備前焼を展示するコーナーでは、現在、「酒器」とされる備前焼を特集。

会 期：平成28年10月21日(金)～12月25日(日)
休 館：月曜、11/21～11/24
開館時間：9:30～17:00
場 所：岡山市北区後楽園1-5
電 話：086-272-1149
交 通：JR岡山駅から、徒歩25分、または岡電バスで「後楽園前」下車すぐ
観 覧 料：(10/21～11/20)大人450円、高校生100円、小人80円、65歳以上220円、5歳未満無料、(11/25～12/25)一般120円、高校生以下無料、65歳以上120円



(備前焼)徳利(小形) 桃山時代
直島沖海揚がり 個人蔵



◀(民俗)酒器

7 岡山空襲展示室
http://www.city.okayama.jp/okayama-city-museum/sensai/sensai_index.html

『否定される酒、肯定される酒 —戦時下のくらしの中で—』

戦時下のくらしの中、兵士や重労働者へのねぎらいとされた酒もあれば、贅沢といまじめられた酒もありました。戦中・戦後の酒の事情を物語る資料や写真を展示します。

会 期：平成28年12月16日(金)～平成29年2月5日(水)
休 館：月曜(ただし1/2と1/9は開館)、12/31、1/1
開館時間：10:00～18:00(入館は17:30まで)
場 所：岡山市北区駅元町15-1 岡山シティミュージアム5階
電 話：086-253-7070
交 通：JR岡山駅西口から東西連絡路で直結
観 覧 料：無料



写真週報第347号
1944年11月15日発行
当展示室蔵 部分